

様式（法第10条第1項関係）

2020年度 活動計算書

2020年 4月 1日から2021年 3月 31日まで

NPO法人 えひめ認知症予防クラブ

科 目	金 額 (単位：円)		
<b>I 経常収益</b>			
1 受取会費			
正会員受取会費	39,000		
賛助会員受取会費			
.....		39,000	
2 受取寄附金			
受取寄附金	150,000		
施設等受入評価益	54,000		
ボランティア受入評価益	430,000		
.....		634,000	
3 受取助成金等			
市補助金			
財団助成金			
.....		0	
4 事業収益			
認知症予防啓発事業収益	135,000		
認知症予防活動事業収益	62,800		
人材育成事業収益	20,000		
.....		217,800	
5 その他収益			
受取利息	0		
ウォーキングノート販売	1,080		
.....		1,080	
<b>経常収益計</b>			891,880
<b>II 経常費用</b>			
1 事業費			
(1)人件費			
給与			
.....			
人件費計	0		
(2)その他経費			
謝金	10,000		
ボランティア受入評価費用	40,000		
旅費交通費	8,360		
通信・運搬費	3,086		
支払い手数料	47,000		
消耗品費	70,767		
賃借料	54,870		
図書費	20,000		
.....			

その他経費計	254,083		
事業費計		254,083	
2 管理費			
(1)人件費			
ボランティア受入評価費用	30,000		
給与			
.....			
人件費計	30,000		
(2)その他経費			
通信・運搬費	49,022		
印刷製本費	15,757		
消耗品費	120,062		
施設等受入評価費用	54,000		
租税公課	1,800		
雑費	2,200		
ボランティア受入評価費用	360,000		
.....			
その他経費計	602,841		
管理費計		632,841	
経常費用計			886,924
当期経常増減額			4,956
III 経常外収益			
1 固定資産売却益			
.....			
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
1 過年度損益修正損			
.....			
経常外費用計			0
当期正味財産増減額			4,956
前期繰越正味財産額			
次期繰越正味財産額			4,956

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。
- 2 設立当初の事業年度及び翌事業年度の活動予算書はそれぞれ別に作成する。
- 3 設立時の資金がある場合は、設立当初の事業年度に設立時正味財産額としてその額を記載する。翌事業年度以降は、前年度の活動予算書に次期繰越正味財産額として掲げた額を、前期繰越正味財産額として記載する。
- 4 事業費及び管理費は、それぞれ人件費及びその他経費に区分したうえで、形態別に表示する。
- 5 特に、経常費用の規模（事業費＋管理費）でみた特定非営利活動に係る事業の割合、経常費用額に占める管理費の割合等は、特定非営利活動を行うことを主たる目的とすること、営利を目的としないものであることという法定要件への適合性の判断材料となる。
- 6 2部作成する。

